

IPCCシンポジウム 2017

気候変動の科学と私たちの未来

気候変動対策を進めようとする大きなうねりが、今、世界中で起こっています。2015年12月の気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において採択されたパリ協定が、本年11月に発効(我が国も同月に批准して締約国入り)しました。その前後で、我が国でも、2015年11月に政府として初の「気候変動の影響への適応計画」、本年5月には「温暖化対策計画」が閣議決定されるなど、様々な動きが始まっています。

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、2014年までに第5次評価報告書(AR5)を公表し、地球温暖化に疑いの余地がないことなどを示しました。同報告書はパリ協定のための国際交渉や各国の政策の礎として世界中で活用されています。そして現在、IPCCでは、2022年までに公表予定の第6次評価報告書(AR6)の作成プロセスが始まっています。

本シンポジウムでは、フランスからIPCC第1作業部会の共同議長をお招きし、気候変動の科学に関する最新の知見を紹介いただくとともに、それらの知見を国内における気候変動対策の普及、そして国際貢献の推進に生かすためどのような取り組みを進めるべきかについて、科学者、気象キャスター、政策決定者などが一堂に会し議論します。

日時: **2017年1月25日(水) 13:30~16:50** (開場 13:00)

場所: **千代田放送会館2F ホール** 住所: 東京都千代田区紀尾井町1-1
(アクセス: 永田町駅から徒歩3分 / 麴町駅から徒歩5分 / 赤坂見附駅から徒歩9分 / 四ツ谷駅から徒歩12分)

定員: **200名** (事前申込み制) 参加費: **無料** 主催: **環境省** ※同時通訳(日本語・英語)あり

司会: 山口容子 (元テレビ朝日アナウンサー / 桜美林大学非常勤講師他)

第1部 基調講演

- 「IPCC第6次評価報告書に向けて」(仮題) / ヴァレリー・マッソン＝デルモット (IPSL/LSCEシニア研究員 / IPCC第1作業部会(WG1)共同議長)
- 「気候変動リスクの総合管理とその対策について」(仮題) / 江守正多 (国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長 / IPCC AR5 WG1 執筆者)

第2部 パネルディスカッション

- 「気候変動問題への国内の取組と国際貢献の促進に向けて」(仮題)

コーディネーター 江守正多 (国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長)

パネリスト ヴァレリー・マッソン＝デルモット (IPCC WG1 共同議長)

田辺清人 (IPCCインベントリータスクフォース(TFI) 共同議長)

井田寛子 (TBS「あさチャン」気象キャスター / 気象予報士)

竹田有里 (TOKYO MX 気象ジャーナリスト)

神奈川県立横浜国際高等学校(スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定校)代表生徒

竹本明生 (環境省 地球環境局研究調査室長)



ヴァレリー・マッソン＝デルモット



井田寛子

講演者プロフィール

江守正多 (えもり・せいた)



東京大学大学院にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所入所。現場での研究のため地球フロンティア研究システムへ出向後(2001~2004)、温暖化リスク評価研究室長等を経て2011年より気候変動リスク評価研究室長。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。IPCC AR5 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」等。

田辺清人 (たなべ・きよと)



東京大学理学系大学院にて気象学専攻、1993年に理学修士号取得。2013年~2015年までTFI技術支援ユニット(TSU)部長。2006年IPCCインベントリーガイドライン作成、UNFCCC非附属書I締約国に関する専門家諮問グループの活動等に従事。IPCC第42回総会(2015年10月)でTFI共同議長に選出、現在に至る。

竹田有里 (たけだ・ゆり)



TOKYO MXの報道記者。災害・環境問題報道の一環で、2015年と2016年に東京都や環境省のほか日本航空など大手企業と世界の気候変動の現場取材した環境番組を日本語と英語で制作。国際線の機内やCOP21、富山サミットなどで放映。専門性の必要性から去年10月に上智大学博士前期課程地球環境学に入学。二足の草鞋生活を送る。

ヴァレリー・マッソン＝デルモット



フランスの研究所IPSL/LSCSEシニア研究員、IPCC AR6サイクル WG1共同議長。専門は過去の気候及び大気水循環変動の研究。研究及び子供や一般への普及実績によりイレース・ジョリオ＝キュリー賞(2013)、Tinker-Muse賞(南極の科学と政策)(2015)、トムソン高被引用論文研究者(2014~)、ジャン・ペラン賞(科学のアウトリーチ)(2016)など表彰多数。

井田寛子 (いだ・ひろこ)



製薬会社勤務後、NHKキャスターに転身。気象予報士の資格を取得、気象キャスターとして大阪放送局へ異動、NHKニュースウオッチ9担当(2011~2016年)。現在はTBSあさチャン出演。筑波大学非常勤講師。国連気候サミット(ニューヨーク、2014)に参加。著書に「気象キャスターになりたい人へ伝えたいこと」。

神奈川県立横浜国際高等学校

(SGH指定校(平成26年度文部科学省指定))

「気づき、考え、行動するグローバル・リーダー育成の戦略的プログラム」をもとに、三つのサブテーマを設定し、「日本の強みを海外へ売り込む方法」を研究課題として活動している。サブテーマは「グローバルビジネスの新しい戦略構想」「新しい国際平和貢献への道」「世界の環境問題の解決に向けての提言」。

「IPCCシンポジウム2017」参加申込方法

申込・問合せ先

(シンポジウム事務局)地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2017年1月23日(月) 必着

申込用QRコードまたは、電話/FAX/電子メールにて受付

シンポジウムへのご参加には申込QRコード(推奨)から、またはE-mailか電話、FAXでの事前申込みが必要になります。

電話、FAX、Eメールでの参加申込

件名に「IPCCシンポジウム2017参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
 - ②E-mailアドレスまたはFAX番号
 - ③電話番号
 - ④ご職業(必須ではありません)
 - ⑤年代(10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80才以上)
- をご記載の上、下記までお申込み下さい。

TEL:03-5825-9735

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- 定員に達した場合のみ、ご連絡します。
- FAX申込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- 申込フォームの場合、自動返信メールをスマホ等でご持参下さい。
- ご記入いただきました個人情報、今後、同種のご案内に限って活用させていただきます。

申込用QRコードでの参加申込

右のQRコードまたは <https://business.form-mailer.jp/fms/1be5a00b64272> から申込フォームにアクセスして、必須項目を入力してください。学校など団体でのお申し込み(10名以上)はお電話にて受け付けます。

